

令和 8 年度全国学力・学習状況調査結果(中学校)

令和 8 年 4 月 23 日を基準日として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果から、稲美町中学校 3 年生(261 名)の「学習成果と課題」「学校・家庭でのようす」「生活と学力の関係」の 3 項目について分析しました。公表されている全国及び兵庫県の結果と比較すると、稲美町中学校 3 年生は、国語、数学、英語のいずれも全国平均をやや下回る結果となりました。特に、国語では「読むこと」、数学では「データの活用」、英語では「書くこと」の領域において、学習内容の定着や活用に課題が見られました。

国語では、「読むこと」の領域において、文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えを整理し、まとめることが求められる問題に課題が見られました。例えば、文章中の擬態語がどのような効果をもたらしているかを捉え、それを踏まえて自分の考えを深めることなど、文章の内容を理解するだけでなく、表現の効果に着目しながら読み、自分の考えを形成する力をさらに育てていく必要があります。

数学では、特に「データの活用」の領域に課題が見られました。データの傾向を的確に捉え、度数分布多角形の特徴を根拠として判断の理由を説明することを問う問題では、全国的な傾向と同様にデータから読み取った傾向を基に判断し、その理由を説明することに難しさが見られ、無解答率も高くなっています。これは、データを読み取る知識だけでなく、複数の情報を比較・分析し、そこから分かることを根拠として判断し、説明する力に課題があることを示しています。

英語では、「書くこと」の領域に弱さが見られました。音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて身に付けた知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用して英文を書くことや、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことを問う問題で、学んだ知識や表現を用いて、自分の考えや気持ちを英文で表すことに課題が見えました。語句や文法を身に付けるだけでなく、それらを実際の場面で用い、自分の考えや気持ちを表現する力を育てることが求められます。

今回の結果からは、教科ごとに課題の表れ方は異なるものの、学習した知識や技能を基に、文章や資料、データなどから必要な情報を捉え、それを根拠として考え、判断し、自分の考えを表現する力について、共通して伸ばしていく必要があることが分かります。特に中学校段階では、これまでに学習した内容を確実に積み上げ、それらに関連付けながら活用する力を育てることが重要です。

※文部科学省の方針により、学校の序列化や過度な競争につながるような数値は使っていません。

稲美町教育委員会

1 稲美町中学校 3 年生《学習成果と課題》

教科(国語・数学・英語)に関する 54 問の調査問題の結果から、稲美町中学校 3 年生の学習成果と課題についてまとめました。全国・兵庫県の中学生と比較して、数値が高いものや、やや低いものを抽出しています。

[国語]

＜調査問題の趣旨・内容＞

- (例) ・話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く。 **＜話すこと・聞くこと＞**
・気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く。 **＜書くこと＞**
・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、適切なものを選択する。 **＜読むこと＞**

- ・「ら抜き言葉」について説明したものとして適切なものを選択する。

＜言葉の特徴や使い方に関する事項＞

＜成果と課題＞

※凡例 ○：成果があった点 ●：課題となる点 ▲：高無回答率

〔 〕内は、評価の観点〔知・技：知識・技能 思・判・表：思考・判断・表現〕

① 話すこと・聞くこと

- 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる。〔思・判・表〕

② 書くこと

- 表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見い出すことができる。〔思・判・表〕

③ 読むこと

- 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。〔思・判・表〕
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。〔思・判・表〕▲

④ 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 助動詞の働きについて理解している。〔知・技〕
- 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができる。〔知・技〕▲

〔数学〕

＜調査問題の趣旨・内容＞

(例) ・ $7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$ から、 $7x$ の同類項をすべて書く。

＜数と式＞

- ・ $AB = AP$ 、 $OB = OP$ ならば $\angle AOB = \angle AOP$ であることを、三角形の合同を基にして証明する。

＜図形＞

- ・ データ量が 1000MB になるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する。

＜関数＞

- ・ 「就寝時刻が 23 時より前の生徒と比べて、23 時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する。

＜データの活用＞

＜成果と課題＞

※凡例 ○：成果があった点 ●：課題となる点 ▲：高無回答率

〔 〕内は、評価の観点〔知・技：知識・技能 思・判・表：思考・判断・表現〕

① 数と式

- 同類項の意味を理解している。〔知・技〕
- 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる。

② 図形

- 具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができる。〔知・技〕
- 筋道を立てて考え、証明することができる。〔思・判・表〕

③ 関 数

●反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めることができる。
〔知・技〕

●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
〔思・判・表〕

④ データの活用

●累積度数の意味を理解しているかどうかをみる。
〔知・技〕

●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができる。
〔思・判・表〕 ▲

〔英語〕

＜調査問題の趣旨・内容＞

（例）・話を聞き、概要を捉える。

＜聞くこと＞

・自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る。

＜読むこと＞

・短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く。

＜読むこと・書くこと＞

・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話す。＜話すこと〔やり取り〕＞

・話を聞いて、考えとその理由を話す。

＜話すこと〔発表〕＞

＜成果と課題＞

※凡例 ○：成果があった点 ●：課題となる点 ▲：高無回答率

〔 〕内は、評価の観点〔知・技：知識・技能 思・判・表：思考・判断・表現〕

① 聞くこと

○日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるか。〔思・判・表〕

●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができる。〔思・判・表〕

② 読むこと

●日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる。
〔思・判・表〕

●社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができる。
〔思・判・表〕

③ 話すこと〔やり取り〕

●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
〔知・技〕

④ 話すこと〔発表〕

●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。

●社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができる。

〔思・判・表〕

⑤ 書くこと

●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
〔思・判・表〕